

週報

Rotary



世界に希望を生み出そう

継続と改革



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

環境月間

第 3372 回例会	No.35	2024. 04. 10	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分		「我等の生業」
四 つ の テ ス ト	村社浩二 君		
ゲ ス ト	富満正哉氏 (宮崎銀行油津支店長)		
例 会 行 事	結婚・誕生者卓話(Part1)		

会長時間

以前一度お話ししました株価の話の第2弾を今日は話します。早めに終わるので最後までご清聴お願いします。

「これは日本経済の復活を告げる「号砲に過ぎない。日経平均株価は今後5～10年で10万円を超える」。日経平均株価がバブル絶頂期の1989年以来、34年ぶりに史上最高値を更新した。

その株価はさらに3倍近く値上がりするという大胆な予想を掲げるのが、経済調査会社「武者リサーチ」代表の武者陵司さん (74) だ。1973年から半世紀以上、大和証券やドイツ証券などで投資ストラテジストとして活躍してきた「金融市場の伝道師」の目に、今の相場はどう映っているのか。「株価は30年以上、ばかげていると言っているほど割安だった」。武者さんは、今回の株高は一時的なバブルでなく、日本の株式市場が本格的な上昇相場に突入したとみる。

バブル絶頂期は大和証券のアナリストとしてニューヨークに駐在していた。当時の日本の熱狂を「みんな狂っているのではないかと思っていましたね。「日本が世界の中心だ」というとんでもない傲慢さが根本にありましたから。株や不動産は以上に値上がりし、バブル崩壊後は本来の価値より価格が低くなるマイナスのバブルが起きてしまった」と振り返る。武者さんが株価の適正水準を評価する指標の一つが「株式益利回り」。1株当たりの当期利益を株価で割った数値で、株式利回りが高いほど株価は割安と考えられている。その株式利回りは、この10年間で上昇が続いていたという。「アベノミクス以降の10年間で、日本企業の利益率は2倍になった。歴史的な低水準にある長期金利と比較して、株式利回りは非常に高くなった。

つまり、株価の割安さが顕著になっていた。ではどのくらいが適正な価格なのか。「日本株のフェアバリュー(適正価値)は最低でも6万円。現在もまだまだ割安で、株高トレンドが後戻りすることはないでしょう」今後の株価上昇を支えるのが、日本経済の「V字回復」だという。「失われた30年」とも呼ばれる長期停滞に苦しんできた日本経済が、なぜここにきてV字回復なのか。武者さんがその前提条件としたのが「米中対立」だ。

まず、日本経済の長期停滞の背景として中国の台頭を挙げる。「90年頃の日本は半導体生産の世界シェアで半分を握るなど、ハイテク産業の製造拠点だった。バブル崩壊と並行するように中国にその座を奪われ、ハイテク産業が衰退したことで経済の長期停滞を招いてしまった」ところが、ここ4～5年で地政学の地殻変動がおきた。中国の台頭を警戒する米国が、半導体などハイテク製品の対中輸出規制を発動。米中経済の分断(デカップリング)の懸念が強まった。それがバブル崩壊後に「世界で一人負け」だった日本経済に大きな変化をもたらしたという。

「中国と覇権争いをする米国は、ハイテク産業で力をつける中国への依存度を下げするため、ハイテク産業が集積する「ハブ」としての役割を日本に与えた。米中冷戦は日本にとって(戦後の特需をもたらした)朝鮮戦争に匹敵する追い風になるでしょう」台湾の半導体受託製造最大手、TSMCの熊本県進出など、日本では半導体産業の「国内回帰」の動きが進む。こうしたハイテク産業投資の波が、株価上昇トレンドの下支

えになっているというわけだ。

さらに、「日本経済には飛躍の土壌が整っている」という。「日本企業と経済の体質は大きく改善している。企業は新たなビジネスモデルを構築し、生産性は向上した。企業統治の改革も前進し、株主の期待にこたえるだけの収益力をつけている。(製造業に有利な)円安とハイテク産業の回帰によって、の日本経済はこれから数十年間、回復基調が続くでしょう」

株価上昇を下支えするもう一つの要因が、インバウンド(訪日客)消費だと指摘する。武者さんは「経済発展で増加するアジアの中間層が日本に観光客として押し寄せ、日本のインバウンドは年間1億人以上を集める巨大産業に成長する。日本はいずれフランスを抜いて世界最大の観光大国になる」と予想した。2023年の日本の国内総生産(GDP)は実額で591兆円。ドル換算でドイツに抜かれ、世界4位に転落した。だが、武者さんは「日本経済の成長力は飛躍的に高まっている。GDPは10年後には900兆円に達するでしょうね。ええ、少なくとも」と明るい未来を描いて見せる。株価は10万円を超え、GDPは900兆円に一。どうも話がうますぎるのではないか。

そんな疑問に、武者さんは「日本の学者もエコノミストも教科書しか知らない。現実には即した分析がされていないだけ」と力を込めた。

幹事報告 委員会報告

1. 4月のロータリーレートは、\$ = 151円 となっております。

次年度幹事より 5/19 地区研修参加要請の件

委員会報告

親睦委員会 結婚 竹井崇利君(1984) 石灘寛樹君(2011)
誕生 田島逸男君(1951) 築瀬 敦君(1966) 豊田裕康君(1973) 竹井崇利君(1957)
野崎正彦君(1946)

例会行事 結婚・誕生者卓話(Part1)

石灘寛樹君(結婚)



4月5日は私ども夫婦の結婚記念日(婚姻届提出日)でした。お祝いいただきありがとうございます。早いもので13年、世間的にはレース婚というのだそうです。

妻は戸籍上は石灘になっていますが、職業上の名称として旧姓を用いています。ネットで見た画数占いによると、妻が私の姓になると浪費家になるということだったので、職業上は旧姓でいいじゃないかと私が持ちかけました。妻は三姉妹の末っ子で姉たちもみな嫁いでいるため旧姓を名乗る者が一人くらいいてもいいのでは

というのも、職名の旧姓使用を勧めた理由でした。

こういうとまるで夫婦別姓論者のようですが、私自身は夫婦同姓論者です。ただし「夫婦どちらかの氏を名乗る」という今の仕組みではなく、婚姻に際して新しい氏を決める(どちらかの氏でもいいし、結合してもいい、あるいは全く新しく作り出してもいい)という考えです。

別姓論者は自分の出生氏に注目しています。これはある意味タテの関係すなわち家制度を重視しているとも言えます。現行の戸籍制度は、婚姻とともに親の戸籍から抜けて新しい戸籍を編成し、その際、夫婦の一方が氏を変えています。だとすると、両方変えたとしてもたいした手間はないと思います(法制度上は)。私は、夫婦同姓新氏創設論は、タテ型の家制度から抜け出して夫婦が新しい家庭を築くという、より自由主義的な仕組みだと思っています。

とはいえ、このような珍説はおそらく日の目を見ることはないと思います。私的にはいい線行っていると思うのですが・・・。

さて、迷信だとは思いつつも、子供の名前をつけるときには、やっぱり画数を一生懸命考えていしました。そして、苦労した結果、画数的には上手な命名ができたと思われ、密かに自画自賛しています。名前負けすることのないように、これからも夫婦して一生懸命子育てしようと思います。

竹井崇利君 (結婚・誕生)



1. ロータリーが結婚祝いをする理由は、結婚を祝福し、新しい家族の一員として歓迎するためです。結婚は社会的なイベントであり、ロータリークラブはそのような特別なときにメンバーやその家族の幸福を祝う慣習を持っています。
2. ロータリーが誕生日を祝う理由は、メンバー間の結束を強め、個々のメンバーを大切に、彼らの貢献を称えるためです。誕生日の祝福は、メンバーの重要なイベントを記念し、コミュニティの一員としての絆を深める機会として捉えられています。

(ChatGPT より)

今年で67歳になりました。70歳の古希まであと3年月日のたつのは早いものですね。結婚40周年になります。金婚式まであと10年、健康に留意して過ごしたいものです。

築瀬 敦君 (誕生)



誕生の卓話ですが、先の一つ皆様をお願いをしたいと思います。
皆様、My Rotaryの登録はお済みになりましたでしょうか？携帯、パソコンのどちらでもいいので登録をお願いします。グーグル検索エンジンからMy Rotaryと入力するとログイン画面が出てきます。そこでアカウントを作成して登録してください。指示に従っていただければできます。やり方がわからないときはご相談ください。
それでは誕生卓話ということで、58歳になりました。

今回は、私の生まれた4月7日にあった出来事の一つを紹介します。

フランス国内で新たに長さの単位として登場した「mメートル」が、1795(寛政7)年4月7日にフランス国内にて基準単位として採用されました。大航海時代を経て地球規模の航海や交流網が発達すると、主に貿易等の商業面で長さの単位がバラバラな状態は何かと不都合が生まれておりました。便利な新しい長さの単位を作ることを目的に、フランスが国を挙げて取り組みを開始。当時のフランスには既に地球観測の実績があり、新たな単位をメートルとしました。算出方法は、まず地球を南北に1周する子午線の長さを算出し、その4分の1にあたる赤道から北極までの距離を計測。さらに1000万分の1の長さとして「mメートル」を算出しました。

日本が国際的な長さの単位基準となったメートル法を採用したのは1921(大正10)年のことでした。メートルの算出方法は、昔授業で先生から雑学のような感じで聞いたことは覚えていましたが、世界で採用された日が自分の誕生日だったのは知りませんでした。誕生卓話をするようになって卓話のネタを探しは大変ですが、新しい発見があったりしてなかなか面白いなあと思いました。

先日の延岡で開催されたRYLAでWBCヘッドコーチを務められた白井一幸氏の講演を聞きました。WBCの裏話で大谷翔平に「そんなに野球にストイックに取り組んで、遊びたいと思わないのか？俺も自分はストイックな方だと思っていたがたまには遊んだりしたぞ。翔平はストレスを感じないのか？」と尋ねると、「何を言っているのですか白井さん。僕は世界一の野球選手を目指しているのですよ。そのために練習しているのです。遊んで練習をしない方が目標から遠くなると感じてストレスになりますよ。」と言ったそうです。

やはり、世界一の選手は言うことが違いますね。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	29	7 (6)	23	19	2	2	21	91.30%
出席免除	落丸、小玉、清水、田島、野崎、渡邊							
先取MU	古澤、峰松							
欠席	榎木田、斉藤							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。